

# イギリスの地方行政

## ——ウイベンハウ・タウン・カウンシルの行政——

大塚 祚 保

### 第1章 ウイベンハウをめぐる現況

#### 1. ウイベンハウの現況

ウイベンハウ (Wivenhoe) は、コルチェスターから東に約5マイルにあるコールン川沿のタウンであり、人口9,000人余の人々が住んでいる<sup>1)</sup>。

その歴史は、船、ヨットのある港町として栄え、街の中心部にタワーの上に鐘のある教会があり、その場所は、サクソン時代に建てられた最初の教会の位置であった (図1-1)。

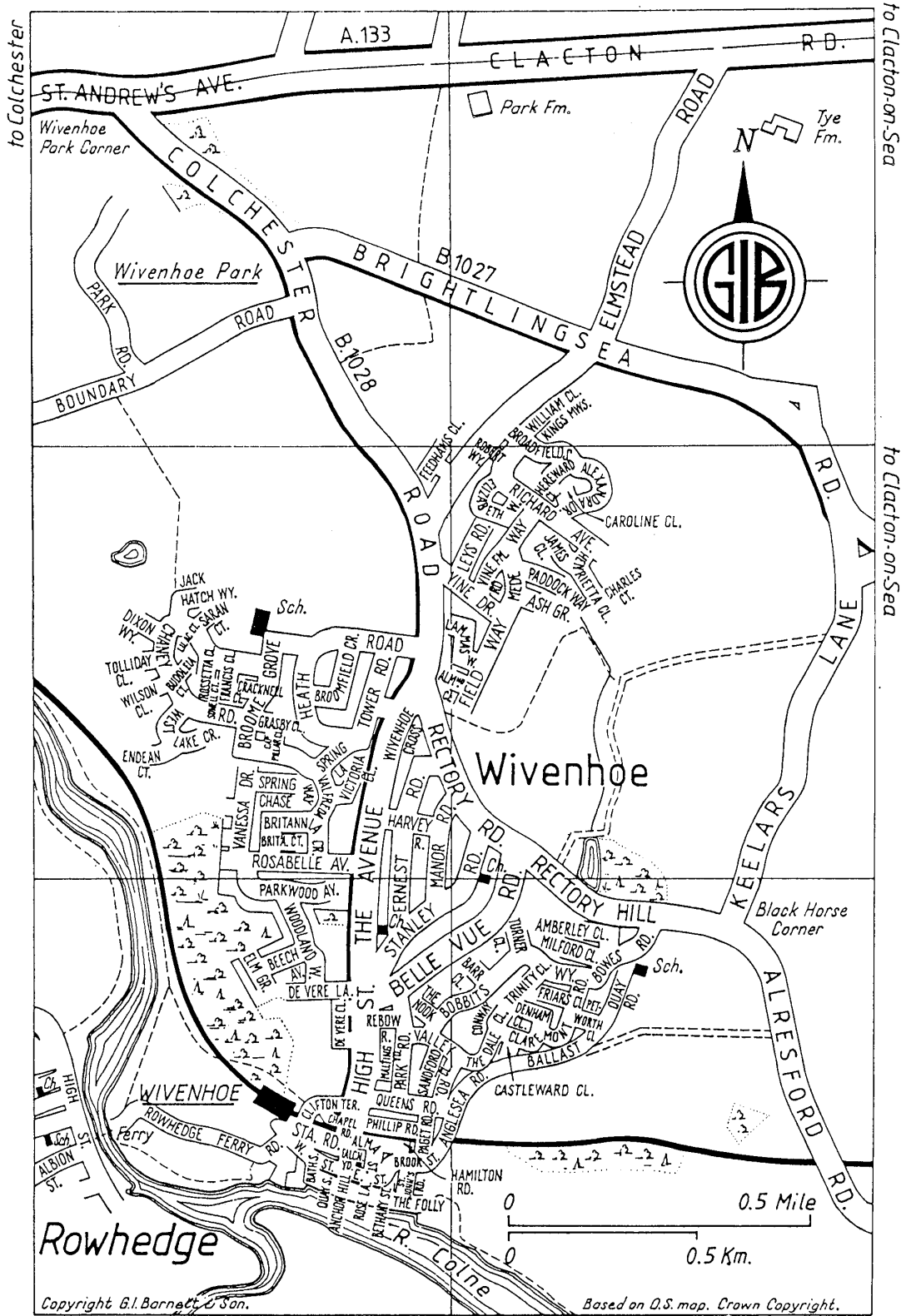
街は、小さく古風で、川沿のウオーター・フロント (quay) のすばらしい修景が保存されている。そのフロントには、係留所、釣りボート、セーリング用の船などがある。その住民は、以前は、漁師、船員や牧場主などの人々が多かったが、近年では、芸術家、牧場主、著述家 (ライター)、小売店主、セーリングの人々などとなっている。

キー (quay) には、コールン川の船員の学園としてのノッテエイジ社がある。ここでは、学生にノットやスキップリングなどを教え、ボートの作り方も教えている。夏期の日曜日には、ビジターに公開している。

歩くことに関心のある人には、ウイベンハウからコルチェスターまでのコースがある。ウイベンハウ駅からコールン川沿を歩き、コルチェスター、ハイスへと結ぶ。これは、川沿いのサイクリング道、フットパスでもある。

それは、車いすや障害者の車でも可能で、レーダーキーにより門が開くようになっている。川の反対側の堤防に、広大な沼地の景色が広がっている。鉄道路線の反対側には、ウイベンハウの森があり、散歩することができる。春にはブルーベルがきれいで、草の空間でピクニックを楽しむことができる。キーから東の方には、フットパスにより川沿

図1-1 WIVENHOEの地図



の港へと行くことができ、港の中は、見学することもできる。

子供たちのためには、街の中心の駐車場のそばに、ジョージア王のプレイ・エリアがある。隣のフィールドは、広大なグリーンで、散歩ができる。そこには、公共トイレがあり、その一つは障害者のトイレもある。

食事のためには、多くのパブがある。歴史あるパブで、のんびりと食事をするのは、くつろいだ気分にしてくれる。

ウイベンハウには、年間を通じて次のイベントがある。

May Fayre	春の第一 Bank ホリデー
6月の市場と芸術	6月の第一土曜日
カーニバル	6月の第一週
オープン・ガーデン	6月
ウイベンハウ・レガッタ	7月
クリケット・ウィーク	7～8月
ハーティ芸術ショー	9月の第二土曜日
クリスマス・Fayre	12月

#### (1) ウイベンハウ・フェリー・トラストなど

ウイベンハウの海の歴史は、多くのヨットと多くの海の男であった。しかし、港は1953年に閉鎖された。

最近では、ボランティア・グループの「ウイベンハウ・フェリー・トラスト」により、新しいフェリーサービスを開始した。それは、ウイベンハウから対岸のフィンリンハウ、ローヘッジへとコールン川を渡る活動である。イースターと10月の週末に、高潮の2時間、フェリーで回遊することができる。

ウイベンハウは、多くのスポーツ・コミュニティをもっており、さまざまなレジャー活動が行われている。フットボール（ウイベンハウ・タウン・フットボールクラブ）、クリケットが盛んである。この他、様々なスポーツが行われており、見るだけでなく、自から楽しむことができる。

ウイベンハウの入口には、ウイベンハウ公園があり、その中には、エセックス大学がある。大学の構内はオープンであり、散歩、スポーツ施設の利用、劇場、ギャラリー、音楽イベントなどのプログラムがある。

#### (2) ウイベンハウの人口

ウイベンハウの人口は、明らかではない。タウン・カウンシルでは、9,000人余という。しかし、コルチェスター・バラの資料では、7,000人余である。これは、1990年の国勢調査をベースにしているもので、より信ぴょう性が高い。この2,000人余の差は、学生な

表1-1 パリッシュ・カウンシルの人口

PARISH/VILLAGE	1991	1992	1993	1994	変 化(%)	
					93-94	91-94
Abberton & Langenhoe	750	750	750	750	0.0	0.0
Aldham	550	550	550	550	0.0	0.0
Birch	850	900	900	850	-5.6	0.0
Boxted	1350	1350	1350	1350	0.0	0.0
Chappel	500	500	500	500	0.0	0.0
Copford with Easthorpe	1350	1400	1400	1400	0.0	3.7
Dedham	1900	1900	1900	1900	0.0	0.0
East Donyland	2350	2350	2400	2400	0.0	2.1
East Mersea	300	300	300	300	0.0	0.0
Eight Ash Green	1700	1750	1750	1750	0.0	2.9
Fingringhoe	700	700	700	700	0.0	0.0
Fordham	850	850	850	850	0.0	0.0
Gt. Horkesley	2200	2200	2200	2200	0.0	0.0
Gt. Tey	1000	1000	1000	1000	0.0	0.0
Gt. & Lt. Wigborough	250	250	250	250	0.0	0.0
Langham	1000	1000	1000	1000	0.0	0.0
Layer Breton	250	250	250	250	0.0	0.0
Layer de la Haye	1850	1850	1850	1900	2.7	2.7
Layer Marney	250	250	250	250	0.0	0.0
Lt. Horkesley	200	200	200	200	0.0	0.0
Marks Tey	2700	2750	2750	2750	0.0	1.9
Messing cum Inworth	350	350	350	350	0.0	0.0
Mount Bures	200	250	250	250	0.0	25.0
Peldon	550	550	550	550	0.0	0.0
Salcott cum Virley	250	250	250	250	0.0	0.0
Stanway	7450	7550	7550	7550	0.0	1.3
Tiptree	7850	7950	7950	7950	0.0	1.3
Wakes Colne	550	550	550	550	0.0	0.0
West Bergholt	3100	3100	3150	3150	0.0	1.6
West Mersea	6750	6800	6750	6700	-0.7	-0.7
Wivenhoe	6650	6800	6800	6800	0.0	2.3
Wormingford	400	400	400	400	0.0	0.0
TOTAL (32)	56850	57650	57650	57600	-0.1	1.3
TOTAL 'RURAL PARISHES'	28200	28550	28600	28600	0.0	1.4

(注) 1. Rural Parishes には Tiptree, West Merse, Wivenhoe, Stanway を除く。

2. 出典: Colchester Borough Council 『Colchester Counts』 1966.3, p. 19

どの未登録人口といえようか。

表1-1によると、次の通りである。コルチェスター・バラ・カウンシル内には、32のパリッシュ・カウンシルがあり、そのうち、ウイベンハウ・タウン・カウンシルは、6,800人（1994年）と比較的多い。ウイベンハウ・タウン・カウンシルは、比較的人口規模の大きなカウンシルであることがわかる。加えて、その人口は、増加傾向にもあり、発展方向にあるパリッシュ・カウンシルであるといえる。

なお、正確なデータについては、どちらが実数なのか、明らかなデータはない。イギリスのデータ事情は、こうした“実情”にある。毎月、毎年の詳細な人口数など、知る必要はない、というのがイギリスでの考え方のようなのである。新しい正確なデータをすぐ知りたがる日本的習慣からいうとイライラするが、イギリス人からすると、「なぜ、そんなデータが必要なのかわからない」というところであろう。

## 2. ウイベンハウの歴史

ウイベンハウの最初の都市ディストリクト・カウンシルは、1898年4月13日に開かれた。そこでの議論は、(1)カウンシルの馬の下肥や飼料、(2)土砂散布式の便所、(3)ガス・オイルヒーター、(4)共同墓地の手入れ、などに関するものであった<sup>2)</sup>。

現在のタウン・カウンシルでは、ウイリアム・ホール、プレイフィールド、プレイエリア、キー（波止場）、共同墓地、駐車エリア、フットパス、バス待合所、計画申請に対する意見、などの議論が展開されている。カウンシルでの議論は、時代と共に移り変わっていることがわかる。

ウイベンハウの歴史は、サクソン時代に遡り、その名前は、サクソンに始源している。“Hoh”は尾根であり、現在のハイストリートを含むコールン川へと突出したところの尾根を示している。“Wiven”は、Wifaの属称で、ノルマン人以前のタウンにいたWifaという個人又は種族の名称である。

ノルマン征服後の10年間、土地台帳では、羊、ブタや水車をもつ30人余の人々が住んでいたことが記録されている。人々は、ボートを造り、漁をして魚を食べていたことは確かである。

教会は、サクソン時代から現在と同じ場所に立っており、約1,500年に、現在のタワーが建設された。それは、木の家々に囲まれ、その上に高くそびえ、ベルが鳴り時計のチャイムが鳴るようになっている。

ボート建設の最初の記録は、1575年である。リチャード・クワイケスレイが波止場（キー）の上流の港にレンタルした。そのキーは、その後の4半世紀の間、タウンの経済の中心となったのである。

17世紀以前に、ウイベンハウでは、商業の船を所有していた。コルチェスターの協力

を得ながら、2つのボートをロンドンへと定期的に送っていた。1650年、ロバート・ページは、ハドソン・ベイ会社を始めた。市民戦争後、ページは、軍艦を作り、繁栄した。

18世紀に、ウイベンハウは、港として発展した。上流の造船所は、常に忙がしく、多くの魚釣り船、荷物船を作った。とくに、小魚やオイスターを大量に陸上げた船が集まり、港は盛況であった。

タウンは、社会的にも発展した。私立の学校が作られ、約1750年、地域の医師ホーラス・フラックは、公衆浴場を作った。それは、現在のバス道路根元のキーに1800年頃まで残っていた。

しかし、人々の生活上のセンターは、パブであった。ローズ・クラウン、ブラック・ボーイ、ファルコン・アンカーなど8つの代表的パブがあり、そこに人々は集まり、飲んだ。パブでは、オークションや商売が行われ、クリケット、ボウリング、コックファイティングのプロモートなどの活動が行われていた。

19世紀には、ウイベンハウの繁栄が急激に変化した。たとえば、マルクイスは、レース用のカッターパールを作り、1819年に進水した。その後、60年の間、タウンの経済は、大きなヨットを所有した金持ちの人々に依存した。彼等は、作るばかりでなく、自分でクルーし、キーの下流の川にヨットをつないでいた。その他、いろいろな人により、多くの船が作られ、タウンは繁栄した。1840年代、ハークス家は、キーの基礎を確立し、一世紀の間、重要な役割を果たしていた。

1850年、タウンは、さらに拡大し発展した。しかし、ハイストリート西側には領主のホールなどの建物があり、拡大の余地はなかった。オーナーの死後、土地は分割され、19世紀後半から、パーク・ロードなどの道路建設が行われ、タウンとしての発展が可能となった。

1863年、コルチェスターからウイベンハウへの鉄道が開かれ、3年後には、ブライトリングシーへと延長した。当時のタウンは、魚とくにオイスターの集積港であり、ロンドンへと急送し、タウンの経済に大いなる恩恵を与えた。他方で、ボート用の木材や家用の屋根のスレートなどがタウンに入荷した。

19世紀には、組合教会の英国学校などの公的教育が振興され、1814年には、イギリス国教の教会学校も創設された。前者は、ウエスト・ストリートに1847年、後者は、ハイストリートに1848年に作られ、1887年、2つの学校は、合併した。当時、ウイベンハウの人々は、ほとんどがこれらの学校の教育を受けていた。

1884年4月22日、かつてイギリスで記録されたことのない大地震が発生した。ウイベンハウでは、1,000をこえる建物が被害をうけた。直接の死者はなかったが、ショックによる老人の死者がでた。しかし、数ヶ月で、そのダメージは回復した。

19世紀の後半10年と20世紀のはじめ、上流の造船所は、多忙であった。潜水艦、軍艦などの建設が続いた。1902年、ウオーター・タワーがオープンしたが、その周辺には住

宅が近づいていた。下水道の建設が急ピッチで進められ、人々に仕事を提供した。

第二次大戦には、上流の造船所が復活した。それは、戦争用の掃海艇や、モーター魚雷、さらにモーターの魚船、いかだなどが建設されたためであり、港湾は再建された。

古いウイベンハウは、海の男か農場の関係者であったが、この頃より、海関係の人が急に減少し、新来の人々が多くなってきた。これらの男性のほとんどは、コルチェスターかロンドンへの通勤者であり、すべてが車をもっていた。ウイベンハウでは、ブルーク・ストリートの建物に集中して産業関連施設があり、多くの人々はそこで働き、わずかな人々が、生活のために漁や船のデザインをしている状況であった。

戦後の数年は、ボヘミア的な要素がもたらされ、多くの芸術家、作家などが集まり、コロニーとなった。彼等は、バラスト・キーハウスに自からのクラブをもち、ジャーナリストなども集まった。

1963年、カウンシルは公共ホールを建設した。

1964年、エセックス大学がウイベンハウ・パークに創られた。当時、大学はウイベンハウを支配するのではないかと恐れられたが、むしろ、ウイベンハウがコルチェスターに吸収されるのを物理的に救った。また、大学の講義や学生は、ウイベンハウに新たなカルチャーを吹きこんだ。

1992年3月、上流の造船所は閉鎖された。これは、港や船を中心としたウイベンハウの時代の終わりでもあった。

現在、ウイベンハウに1万人余の市民がいる。その社会的ニーズは、7つの公営住宅、4つの教会、クラブ施設をもつ4つのスポーツ組織、2つの小学校、社会教育センター、60近い市民の組織などにある。

## 第2章 カウンシルとスタッフ

### 1. 議員

ウイベンハウ・タウン・カウンシルの議員 (Councillor) は9名である。住民による直接選挙で選出され、任期は4年である。選挙に当っては、候補者が9名に達せず、「選挙なし」の事例も多い。この場合、不足議員を推せんして議員になってもらうということもある。とくに、小さなパリッシュ・カウンシルでは、「選挙なし」の事例がより多いといわれる。

現在の議員は、男性7名、女性2名であり、女性議員が比較的少ない。しかし、平均すると4～5名余が多く、ほぼ半数が女性議員であるといわれる。日本と比べ、女性の進出が多いと考えてよい。

議員は、無報酬のボランティアである。しかも、議員の仕事は、多忙である。議員は、

月一度のカウンシル・ミーティングと、所属する委員会あるいは2～3のワーキング・パーティーに出席するが、それらに月7～8日が必要となる。さらに、住民からの電話、手紙、ミーティングの資料づくりなどで、週20～30時間が費される。

ミーティングは、原則として夕方7時30分から開始される。サラリーマンなどの他の職業をもつ人への配慮からである。素人政治の理念が、現在でも維持されている。

ウイベンハウの場合、議員の期間は、比較的短い人が多い。前期では、12年1名、6～8年3名、4年4名、他1名であり、今期では、14年1名、3年1名、新人7名である。平均すると、10年余の長い人が2～3名、新人が3～4名ぐらいである。もちろん、地域によっては、10～20年と長期間に議員をして地域のボス化する事例も見受けられる。

要するに、議員は、人々のために働くボランティアであり、多忙の上に収入がふえるわけでもなく、長く続ける人はそう多くない、というのが最近の傾向である。議員は、バラ・カウンシルやカウンティ・カウンシルの議員と兼職できることになっているが、現在では、兼職者は誰もいない。

議員の党派別は、労働党5、独立党3、保守党1である。カウンシルでの活動は、党派別に行動するとしても、日常的な活動は、政党色より地域色がより強くなる傾向にある。

議員の中からは、市長 (Mayor) および副市長 (Duty Mayor) が選出される。市長は、Full Council の議長 (Chair) であるが、Town Mayor の名称で呼ばれる。副市長は、翌年に市長に選出されるケースが多い。これらの任期は、いずれも1年である。

## 2. タウン・カウンシルのしくみ

ウイベンハウ・カウンシル (Wivenhoe Council) は、パリッシュ (Parish) の中でも比較的規模の大きいカウンシルで、タウン・カウンシル (Town Council) と呼ばれている。その議長は、Town Mayor である。

その構成は、図2-1の通りである。

タウン・カウンシルには、Annual Town meeting という年一回の住民総会がある。これは、全住民を対象とする住民総参加の直接民主制に基づく集会である。一年間の重要案件は、議員と住民との討議で決められ、その後のカウンシルで実施されるシステムである。

Town Council meeting は、月一回開催され、他の団体の、いわゆる Full Council と同様の機能をもつ。カウンシルの中には、計画委員会と人事委員会の2つの常設委員会がある。議員は、どちらか一方の委員会のメンバーとなっており、両委員会は、5名のメンバーからなる。

この他に、5つのワーキング・パーティー (Working Party) があり、このうち2つは、



ワーキング・グループと呼ばれる。各議員は、これらの2～3のワーキング・パーティにも所属する。

議員は、月一回のタウン・カOUNシル・ミーティングに出席し、両委員会的一方に出席し、月一度のペースで開催されるワーキング・パーティに出席するというスタイルで、議員活動を展開している。

カOUNシルの運営は、議長である市長がリーダーシップをとる形で行われる。Mayorの主たる役割は、カOUNシルの中での意見の調整、とりまとめであるが、全体で9名の議員しかいないこともあり、カOUNシルでの実質的な実力者ともなる。

人事委員会では、各議員の委員会、ワーキング・グループの配分、カOUNシルでの分担を行うが、その議長は、市長でもある。全体としては、全議員が協力的に仕事を分担し、それを議長である市長が、リーダーシップをとりながらまとめていくというスタイルである。

多数党のリーダーは別にいるが、ウイベンホウでは、そう強力ではない。議員数が少く、発揮すべき政治的課題もそう多くない、という実情からであろう。

政策の審議決定は、原則として月一度のTown Council meetingで行い、委員会への委任の手続きはなされていない。これは、全議員9名という規模から考えて、全議員による決定を最重要視しているものといえる。ただし、このFull Councilのミーティングで協議し、合意が得られない場合、2つの委員会やワーキング・グループに委任して結論を得ることになっている。

コルチェスターやエセックス・カOUNティなどのイギリスの地方団体では、政策の審議決定を委員会に委任することを原則としているが、ウイベンホウの事例は、規模が小さいがゆえのシステムといえよう。

2つの常設委員会は、政策を審議し、サービスの手続の詳細などを協議し、実行することが主目的となる。実行するといっても、自から行うというよりは、スタッフを指揮監督することが職務となる。

ワーキング・グループは、特定の課題を中心に、具体的なサービス方法などを協議する。とくに、関連事項を含めた非公式な協議は、この場で多く行われる。

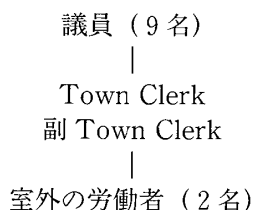
なお、これらの委員会やワーキング・グループでの政策原案の作成は、アイデアも含めて議員が中心となって行う。あえていえば、議員主導型ですべてが行われる。但し、その内容は、政策というよりも日常的な住民生活で生じた諸課題のようなものが大半である。カOUNシルの全体的運営は、伝統的な議員主導型で展開される。

タウン・クラークほか4名のスタッフは、こうした9名の議員を支援し、アドバイスすると同時に、カOUNシルで決定されたサービスを、住民に対して執行するという職務が与えられている（表2-1）。

図2-1 Town Councilの構成

Annual Town meeting	9 議員, 住民総会, 年 1 回
Town Council meeting (Full Council)	議長 + 8 議員 住民の出席, 1 回/月
計画委員会	メンバー 5 議員, 3 週間毎に会議
人事委員会	メンバー 5 議員, 2 ヶ月毎に会議
(Working Parties)	各メンバー 4 ~ 5 議員
総合アメニティ・景観	毎月会議
ウィリアム・ラプレスホール・オープンスペース	毎月会議
ミニバス・ワーキンググループ	毎月会議
田舎の産業科学のワーキンググループ	毎月会議(限定した期間に)
プロジェクト2000	毎月会議(限定した期間に)

表2-1 議員・スタッフの構成



### 2-1 タウン・ミーティング (総会)

Annual Town meeting は、年一回の総会で、すべての住民を構成メンバーとして開催される。これは、1972年、地方政府法において、すべてのパリッシュ・カウンシルに義務付けられているものである。

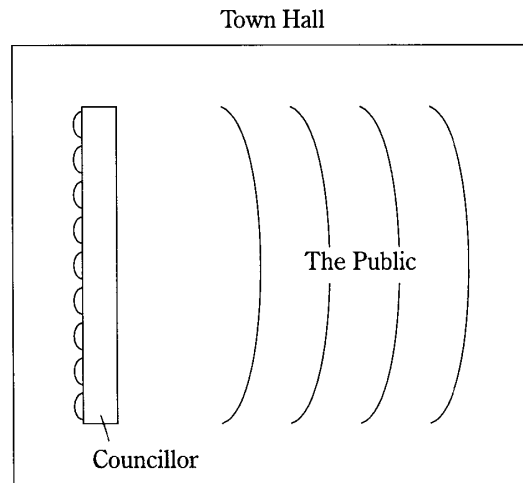
ウイベンハウ・タウン・カウンシルでは、毎年5月に、この meeting を開催している。しかし、出席する住民は、残念ながら平均20~30名と少い (図2-2)。

全議員を前に、集った住民から質問や意見が出される直接対話方式である。手紙などの文書による提案も可能である。こうした意見は、meeting で協議され、ここで「採決」された場合、その年の Town Council meeting か委員会は、さらに検討し、実行しなければならないとされる。

住民総参加の直接民主制度の実践である。ただし、その参加住民が、毎年平均して20~30名と少いことは、制度が形骸化しているともいえよう。

なお、月一回の Town Council meeting の議題に、住民による直接の発言する機会が設定されているのは、この制度に連結したものである。

図2-2 Annual Town meeting



## 2-2 Town Council meeting

タウン・カウンシル・ミーティングは、毎月第三月曜日の午後7時30分からタウン・カウンシル事務所で開催される。

ミーティングは、議長である Town Mayor の司会の下に、全議員が出席して行われる。このミーティングは、他の団体でいう Full Council であり、しかも、委員会に政策審議の委任をしていないために、政策決定を行う重要なミーティングでもある。

議長は、Mayor としての勲章を首に下げて議長席につく。各議員は、議長を囲む形で長方形の机に座る。タウン・クラークは、補佐役として議長席の近くに席を置く。本来、議長 (Chair) と市長 (Town Mayor) は、必ずしも同一人物ではないが、現在では、同一人物としている。

議事は、議長が Agenda (議題) に則して、各議員の意見を聞きながら進行させる。各議員は、自分の意見を自由に発言し、議長は、意見のなくなったところで総括しながら、次の議題へと進めていく。議長は、議員の自由な意見を聞き、それをまとめていくという形で、あえて「採決」はしていない。これは、議論を通じて合意を得るという考え方から、「採決をしない」という習慣になっているためである<sup>3)</sup>。

会議は、全体として小じんまりとした家庭的なムードである。しかし、ミーティングの内容は、熱心な協議が展開される。会議は、夕方の7時30分に開始、10時頃まで続けられる。毎月一回のミーティングは、平均して2時間余となっている。

タウン・クラークは、Mayor の近くに座り、必要に応じて資料を提供し、時には、アドバイスらしき協議をしている。しかし、自から答弁という形での発言権はない。カウンシルでの正式な発言権は、議員にのみ与えられている。

このミーティングには、2つの注目すべきしくみがある。1つは、住民の直接参加のしくみであり、2つは、コルチェスター・バラやエセックス・カウンティの議員による報告である。双方とも、議題（Agenda）の一部として加えられている。

「議題4. 住民から起こった問題点の考察」では、住民がミーティングに出席し、2分以内で発言することが認められている。これは、住民の全員参加を前提とした Annual タウン・ミーティングを具体化したもので、直接民主制を保障するしくみの制度化といえる。

住民は、ミーティングに自由に参加できる、そして意見のある住民には、発言する機会を与える、というしくみは、生の住民の意見を直接に発言させる重要な制度と考えられる。しかし、その運営の実態は、住民からの発言はほとんどなく、制度がありながら十分に活用されていないという実態でもある。住民の政治への関心の低さであろうか。

月一回のタウン・カウンシル・ミーティングは、住民が自由に参加できるとされながら、その傍聴は多いものではない。傍聴して出席することが少いとなれば、自ずと発言も少く、住民が直接に発言する制度がありながら、制度が形骸化していることになる。住民の政治離れは、イギリスでも日本と同様といえる。

2つは、「議題5. バラやカウンティの議員からの報告」である。ミーティングには、ウイベンホウ選出のコルチェスター・バラの議員とエセックス・カウンティの議員がオブザーバーとしての席が用意されている。

両議員は、それぞれウイベンホウに関連する政策あるいは問題について報告し、出席した議員からの質問を受けるというしくみである。政策に関連する情報交換または意見交換といえる。広域的団体であるカウンティやバラ・ディストリクトにおける政策の動向は、タウン・カウンシルのウイベンホウにとっても大きく影響のあることであり、議員にとっては、大きな関心事の一つといえる。

こうした議員間の日常的な交流は、双方のパートナーシップが強く保たれていくものといえる。但し、正式なカウンシルの場で、議題として設定し、席を常設して設置することまでの待遇が必要であるのか、という疑念は残る。

カウンシルには、双方の協力性が必要であると同時に、他方では、独立性が要請される。常時、上位団体の議員が出席することは、この独立性あるいは秘密性が確保されないのではないかと、という疑問すら生じてくる。これは、タウン・カウンシルの家庭的で、オープンな性格の結果でもあろうか。タウン・カウンシルは、住民あるいは議員などの誰にでも開かれたしくみをもっており、それが特徴でもあるといえる。

### 2-3 計画委員会 (Planning Committee)

計画委員会は、2週間毎に、午後7時30分からタウン・カウンシル事務所で開催される。メンバーは、5議員で、議長が選出され、その議長の議事進行の下に審議は進めら

れる。住民は自由に出席し、傍聴することができる。しかし、住民生活に大きくインパクトを与える問題ではない限り、多くの住民が出席することはない。

委員会は、メンバーが少いこともあり、自由で家庭的な雰囲気の中で行われる。しかし、審議は、図面等を見ながら熱心な協議が続けられ、議員は、それに対して自由に意見をのべ合う。審議結果は、各議員の意見を聞きながら議長が総括的にまとめていく。採決はとらない。ただし、タウン・クラークは、議員の発言を書記しており、発言内容は、次の議事録に示される。

計画委員会の審議内容は、計画申請について2つの内容に区分される。

1つは、国やカウンティ、またはバラなどの広域的団体の計画申請や計画実施について、住民を代表して意見を述べ反映させることである。これは、1972年法により規定されているもので、タウン・パリッシュ・カウンシルに与えられた法律上の重要な責務である。広域的な計画主体は、これにより、直接的な地域の団体や住民の意見を反映させない限り、計画実施はできないこととなる。たとえば、コールン開発計画、エセックス構造計画、エセックス水問題計画、バラ修正計画などである。

2つは、計画申請への対応である。これは住民による住宅の新築、増改築計画あるいは工場の開発計画などの開発行為への対応である。

委員会では、こうした開発申請に対して、開発計画の図面を示しながら開発の是非を議論し、意見の集約を図っていくこととなる。住民からの開発計画は、責任主体であるコルチェスター・バラの計画部門に提出され、それを經由して地元であるウイベンハウ・カウンシルへと開発行為の是非に対する意見を求め、この意見を受けて、バラ・カウンシルから開発主体へと回答される、というシステムである。

計画レベルにおける役割は、コルチェスター・バラが計画の策定から実施までの権限を保有しているのに対して、ウイベンハウは、街を住民のために機能させる役割を果たしているといえる。パリッシュ・カウンシルのない地域では、街としての十分な行き届いた政策が行われていない面がある、ともいわれているからである。

## 2-4 計画申請のしくみ

計画申請プロセスを前提として、そのシステムを詳述しておきたい。

地域開発には、開発を期待する意見と開発に反対して保護を求める意見とが必ず生じる。開発計画の申請は、そうした双方の利害の対立を調整する一つの方法でもある（図2-3）。

- ① 計画申請者は、計画主体であるコルチェスター・バラ・カウンシルの計画担当官に申請書（3図を含む）を提出する。
- ② 担当官は、そのうちの1図をウイベンハウ・タウン・カウンシル（計画委員会）に提出して、意見を求める。ウイベンハウの計画委員会では、それに対して「賛成」又

は条件付きの「意見」を加えて担当官に返送する。なお、この返送した「意見」がどの程度反映されるか否かは、明らかではない。

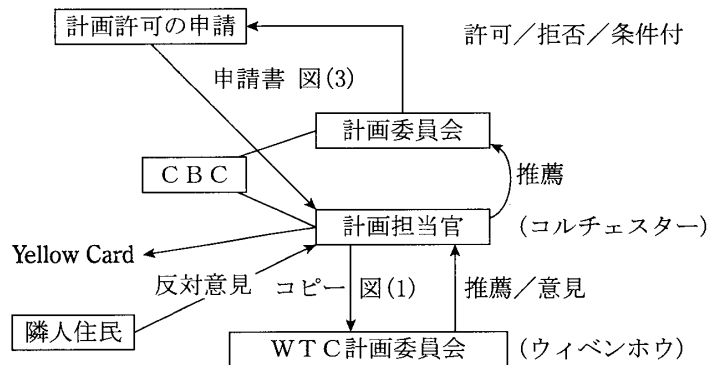
ウイベンホウでは、(1)一般には、クラーク名で文書を送る、(2)強い反対は、Mayorのサインで送る、(3)さらに強い反対は、コルチェスターの3議員の手紙で意見を送る、(4)最後には、新聞(世論)に訴え反対する、というパターンで、自からの意見の反映に努める<sup>4)</sup>。

さらに、担当官は、Yellow Cardを申請者のドアーに貼り、近隣の住民に開発への意見を求める。反対の住民は、反対意見を担当官に提出する。

- ③ 計画担当官は、この2つの意見を参考としながら、調整して計画委員会(コルチェスター・バラ)に提出する。
- ④ 計画委員会では、開発許可、拒否、条件付許可のうちの一つの返答を提出する。条件付の場合、申請者は、申請内容に修正を加え、再度提出することになる。「拒否」の場合、不服であれば、直接、環境省(国)に直訴することが可能である。

これが、計画申請プロセスの概要である。ここで関係団体の機能を整理すると、表2-

図2-3 計画申請プロセス



(注)

- 1. 仮に、CBC(申請を再考する検査官を任命する)が拒否すれば、環境省に直訴する。
- 2. 大規模な計画申請では、(たとえば、コールン川法廷)、インスペクターによって示された“調査”で再考される。証拠は、法廷形式のヒアリングで個人に示される。弁護士も含まれる。

表2-2 計画申請の機能

WTC (ウイベンホウ・タウン・カウンシル)	意見 (のべる)
CBC (コルチェスター・バラ・カウンシル)	
Planning officer	推せん
Planning Committee	許可
ECC (エセックス・カウンティ・カウンシル)	計画のガイドライン

2の通りである。

計画の責任主体は、コルチェスター・バラ・カウンシルにある。カウンシルの計画委員会の名で許可することになる。エセックス・カウンティは、計画のガイドラインを策定し、指導する責務を負う。ウイベンホウ・タウン・カウンシルは、地域住民の意見を反映させる責務を負う。

このシステムで、最終的な決定をみない場合、環境省に直訴され、検査官（インスペクター）の最終判断となる。

以下、これらの具体例を挙げてみたい。

ウイベンホウのコーレン川沿の波止場（キー）は、300年余の歴史をもつ街並みであり、歴史的修景保存地区である。従って、この地区での規制はきびしく、開発申請には、ウォーター・フロントの修景保存を前提とした抑制的開発が求められる。

すでに住む住民の住居の増改築計画に対しても、計画申請には、計画委員会（ウイベンホウ）でのきびしい協議が行われ、必要な修正を求める意見を付して開発許可が下されるシステムである。開発計画は、コルチェスター・バラを経由して、ウイベンホウ・カウンシルに「意見を求める」形で回付される。

ウイベンホウの計画委員会は、これを受けて2週間毎に開催される。たとえば、古い教会を6軒の家に開発する計画申請が提出され、バラから回付される。ウイベンホウの計画委員会では、6軒を5軒とし、庭の大木をそのまま保存するという条件を意見として提出した。結果は、5軒の開発と大木を保存するという方向で実施され、タウンの意見がそのまま反映されたものである。

次の事例は、300年余の歴史的建物の開発計画である。これは、開発保存地区内ではないが、グレードの高い建物として、きびしいチェックが行われる。家のドアには“イエローカード”が貼られ、近隣の人々に開発計画を知らせ、意見を求めることが行われる。結果としては、木の色、レンガの色、家の高さなどに条件が付けられ、計画修正して認可される。

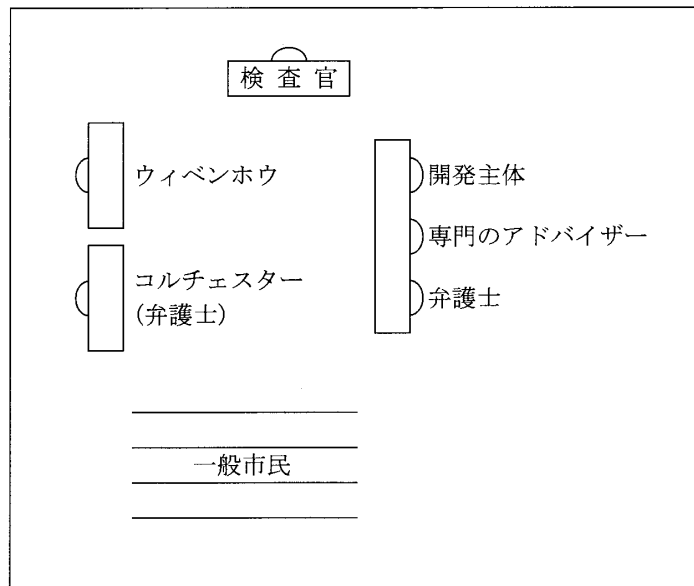
第3の事例は、ウイベンホウ橋の大規模開発の事例である。これは、広域団体による開発申請の事例であり、ウイベンホウに「意見を求める」手続が行われた。

ウイベンホウの計画委員会は、「No」の意見をコルチェスター・バラに返送したが認められずに、これを不服として環境省に直訴した。環境省では、検査官（Inspector）が検討し、ウイベンホウに来て審査を行う。その審査の方法は、図2-4のような法廷方式による審査会であった<sup>5)</sup>。

審査は、検査官が議長となって行われる。関係者は、証人、証拠を提出しながら自らの意見を主張し、討議する。一般住民は、そうしたプロセスを傍聴しながら、お互いの意見を確認する。

こうした手続を経た上で、検査官は、3～6ヵ月かけて大部のレポートを作成し、結

図2-4 パブリック審査



論を決定する。このインスペクターの決定で、審査は終了し、決断される。結果としては、ウイベンホウの意見が通らず、計画通りに実行されたが、こうしたプロセスを経ることで、住民は、納得することとなる。

### 3. スタッフ

タウン・カウンシルのスタッフは、タウン・クラーク (Town Clerk) とアシスタント・タウン・クラークの2名であり、この他に、パートタイムのワーカーが2名である (表2-1参照)。

タウン・クラークの主たる職務は、9名の議員の秘書およびマネージャーであり、議員関係の連絡などのすべてを担当している。この他に、Council や Committee の議題 (Agenda) の作成、議事録 (Minutes) の作成、タウン・カウンシル事務所の維持管理などである。さらに、15項目にわたる行政サービスに関連する事務を総括して担当する。

アシスタント・タウン・クラークは、これを補佐する。この2名の女性職員が、これらの事務のすべてを担当しているのである。

この他、2名のパートタイム職員は、施設の維持管理やフィールドなどのグリーンの草刈りやゴミの清掃などの維持管理を担当する。10エーカーのプレイグラウンドと30エーカーのフィールドなどのグリーンがあり、これらの維持管理が主たる仕事である。

なお、人口200~300名の小さなパリッシュでは、オフィスもホールもなく、グリーンの草刈りなどは、バラやディストリクト・カウンシルの職員の派遣を受け、実施してい



るケースが多い。

タウン・クラーク以下のスタッフが、カウンシルの中でどのようなスタイルをとり、役割を果たしているかが、関心事の一つであったが、クラークを含めた4名のスタッフでは、自ずとそのパワーも想像ができる。

カウンシルの運営は、議員主導型で展開される。すべての決定は議員が行い、その指示の下に、タウン・クラーク以下のスタッフは、それらを支援する体制をとっている。規模の大きなカウンティやバラのカウンシルと比べ、伝統的な議員主導型のスタイルが一層強力に保持されている。

タウン・クラークは、カウンシルや委員会での発言権を与えられていない。議題や議事録の作成はするが、その内容は、議長などの議員の指示に従って作成する。その他、委員会、ワーキング・グループからの指示を受ける。9名の議員のすべての仕事が、クラークに集中することとなる。クラークが多忙であったり、内容が不明の場合、人事委員会の協力を求めることになっている。

クラークの仕事は、会社の秘書、オフィス・マネージャーのようなものだという。ただし、法律上あるいはカウンシルの運営上のチェックは、重要な仕事の一つである。また、政府、カウンティ、バラなどの上位団体からの文書等の情報の窓口であり、公式の文書は、クラークあてに配送される。文書の管理あるいは議長や各議員への配布は、随時、クラークの判断で行われる。

さらに、市民サービスへの総括的責任は、クラークの業務である。議員の指示を受けながら、アシスタント・クラーク以下3名のスタッフを指揮して行政サービスを実施することである。

### 第3章 行政サービス

ウイベンホウ・タウン・カウンシルは、パリッシュ・カウンシルの中では規模の大きな団体とはいえ、バラやディストリクト・カウンシルと比べると、規模は小さく、行政責任の範囲も小さく、従って、行政サービスの質量ともに小さな団体でしかない。それは、地方団体の第三層といわれるタウン・カウンシルの限界でもあり、補助的・限定的な自治機能を果たしているのである<sup>6)</sup>。

タウン・カウンシルのもつ主要な行政サービスは、市民菜園、共同墓地、計画申請への意見反映、施設の維持管理などであり、住民生活に身近かな行政のごく一部でしかない。その他の行政サービスの大半は、所属するコルチェスター・バラ・カウンシルによる行政サービスである。

## 1. ウイベンホウ・カウンシルの行政サービス

### (1) 施設のレンタル<sup>7)</sup>

タウン・カウンシルは、コミュニティ・ホール（ウイリアム・ラブレス・ホール）とジョージ王第5フィールド内のスポーツ・パビリオンを所有し、レンタルしている。

ウイリアム・ラブレス・ホールは、ミーティングルームと大ホール（160名収容）をもち、台所と男女のトイレをもっている。スポーツ・パビリオンは、ミーティングルームと小さな台所、トイレ、シャワーをもっている。

これらの施設のレンタルは、ウイベンホウの住民と非収益グループには、レンタル料を50%削減して貸出している。こうした住民の社会的・教育的な目的の使用のために建物を提供し、準備する機能は、地方政府法（1976年）に根拠がある。

### (2) イベントなどの情報

コミュニティ・ホールやスポーツ・パビリオンでのイベントのリストは、カウンシル事務所に保有されている。住民は、必要に応じて問い合わせをすれば、さまざまな情報が受けられる。ホールを利用したり、イベントに参加することは、自由に可能である。

### (3) 庭のごみ袋

家庭から出る庭の草、植木などのごみを入れるごみ袋については、カウンシル事務所のカウンターで購入することができる。

### (4) コミュニティ・グループによるコピー

コミュニティ・グループが必要とするコピーについては、カウンシル事務所のカウンターで利用できる。これは、グループによるミーティングなどの際に必要となる資料づくりに、コピーサービス（有料）を行っているものである。

### (5) 選挙人名簿のコピー

選挙人名簿は、コルチェスター・バラでの投票を登録していれば、見ることができるし、コピーすることができる。

### (6) 計画申請

ウイベンホウにおける計画申請や計画決定については、カウンシル事務所に保持されている。とくに、上位の計画主体による計画決定に当っては、住民の意見を集約したカウンシルとしての意見を述べる責任を負っている。計画主体は、これを尊重しなければならない、と法律により規定されている。この計画申請における意見の反映は、タウン・

カウンシルに与えられた重要な責務の一つである。

#### (7) 市民菜園

カウンシルは、ウイベンハウ市民菜園・庭園協会と協力して、レクトリロードにある100以上の市民菜園を管理している。住民は、希望すれば、貸りることができる。

この市民菜園サービスは、人々に小さな土地を貸し与えようという政策で、人々が菜園などとしたことから市民菜園となったものである。このサービスは、1908年小所有地・市民菜園法に根拠があり、カウンシルは、需要があれば、市民菜園を提供する義務があるとされる。

#### (8) 共同墓地

カウンシルは、ウイベンハウ墓地を管理している。墓地の記録は、1874年まで遡ることができ、記録の調査は、わずかな費用で利用できる。カウンシルでは、古い墓地の改善のために、植物や低木の寄付を受けている。人口の増加とともに墓地が不足し、現在、第三の墓地を検討中である。

#### (9) 老人へのバス許可証の交付

年金受給者の老人へのバス許可証の交付は、毎年2度にわたり、ウイリアム・ラブレスホールで交付される。その日時は、事前に公共掲示板に掲示される。

#### (10) 障害者へのレーターキー

障害者は、登録すれば、わずかな料金を公衆便所の障害者用トイレの特別のレーターキーを得ることができる。これは、タウンの中間の公共駐車場の中に設置されているもので、室外での利用に便利である。

#### (11) ポスターの展示

カウンシルは、次の3つの公共掲示板を管理している。これは、タウン・カウンシル事務所前、ウイリアム・ラブレス・ホール前、ショッピングセンター前、の3カ所に配置されている。カウンシル事務所に申し込めば、スタッフは、掲示板に張り、管理することができる。

#### (12) カウンシル住宅の申込み

カウンシル事務所で、住宅への申請申込みができる。

**(13) 一般的アドバイスとその関連**

政府サービスやコルチェスター・バラ、エセックス・カウンティなどに関する行政サービスやその他の諸問題について、カウンシル事務所に問い合わせがあれば、アドバイスまたは支援することができる。

**(14) 犬の運動エリア**

ジョージア王第5フィールドのはじめに、犬用のオープン・エリアが提供されている。犬のフン用のごみ箱が設置されており、犬の散歩のし方、フンの処理をPRしている。

**(15) コミュニティ・ミニバス**

95年4月から、ミニバス・サービスがスタートした。これは、カウンシルが、チャリティー団体からの交付金でバン車を購入し、このバンを住民に貸出すサービスである。住民やボランティア団体は、事前に貸出しを申請すれば、運転手、ガソリン等を自己負担で、貸出しを受けることができる。

**2. その他の機関の行政サービス**

教育行政は、エセックス・カウンティの管轄である。ウイベンホウ内には、3つの学校がある。

その他の行政サービスとしては、次の公共施設およびそれに準じた施設がある。そのサービスは、それぞれの所管団体が責任主体として提供している。

警察署、消防署、図書館、水道サービス、電気サービス、病院。

**2-1 学校****(1) ブルームグローブ・カウンティ幼児学校（5～7歳）**

学校開設	1966年
のべ幼児数	139人
教師数	6人
クラス数	6
クラブ	レコーダー、聖歌隊
施設	プレーグラウンド（含ゲーム用の登るフレーム） ピクニック・テーブル、プレイフィールド
その他	学校ホールは有料で利用できる。 夏期ファイアー、クイズの夜、バザーセール、ディスコ。両親はヘルパーとして歓迎。

**(2) ブルームグローブ・カウンティ小学校**

学校開設	1971年
のべ児童数	230人
教師数	9人
クラス数	8
クラブ	ネットボール、フットボール、園芸、芸術、チェス、アスレチック、レコーダー、聖歌隊
施設	プレーグラウンド、プレーフィールド、庭園、水泳プール、2つの池と未開生活エリア、図書館、中庭
その他	学校ホールとクラスルームは、有料で利用できる。 ボンファイアー・ナイトパーティー、クイズの夜、夏期祭。両親のヘルパーを歓迎。

**(3) ミルフィールド・カウンティ小学校**

学校開設	1981年
のべ生徒数	206人
教師数	7人
クラス数	7
クラブ	ネットボール、フットボール、ホッケー、セーリング、未開生活、サイクリング、レコーダー、聖歌隊、キーボード
施設	プレーグラウンド(2)、プレーフィールド、図書館、池のある中庭
その他	学校ホールとフィールドは、有料で利用できる。 バーンダンス、祭、バザーセール、バトミントン、マラソン、スケート。 両親のヘルパーを歓迎。

**第4章 ウイベンホウの現代生活**

ウイベンホウは、多様な側面をもつタウンである。9,000人余の住民の中には、多くの芸術家たちが含まれている。彼等の発する様々なパワーは、ウイベンホウの地域の中で、一つの特異な文化を展開している。

表4-1に示される70余の住民によるボランティアな組織は、こうした人々の活動の一部である。

表4-1 ウイベンハウの組織

ウイベンハウ・市民菜園と庭園団体	ウイベンハウ・女子ガイド
ウイベンハウ・スカウト&ガイド団体	ウイベンハウ&ロウヘッジのヨット所有者団体
組合教会のスカウト&ガイド	ST ジョーン野戦病院 (ウイベンハウ支部)
ウイベンハウ・セイリング・クラブ	労働者の教育団体
ウイベンハウ・コース・フットボール・クラブ	盲人のガイド犬
ウイベンハウ・タウン・フットボール・クラブ	ぜんそく支援グループ
ウイベンハウ・クリケット・クラブ	ノットエイジ協会
ウイベンハウ・ボウル・クラブ	ウイベンハウセンター
ウイベンハウ・バドミントン・クラブ	コールン岸のダンス学校
ウイベンハウ・婦人協会	商業と貿易についてのウイベンハウ団体
ウイベンハウ・ソサエティ	ウイベンハウ&デイストリクトのケアー団体
ウイベンハウ・60代以上のクラブ	コルチェスターロトラクト
ウイベンハウ・高齢者社交クラブ	ウイベンハウ労働党
高齢者クラブ (エルムステード)	ウイベンハウ支部：北部コルチェスターの保守団体
コルチェスター&デイストリクト・ストローク・クラブ	ジョナサン・フィードハム・チャリティ
ダービー&ジョーン・クラブ	メアリー・アン・サンドフォードのアルムハウス・チャリティ
ARC	ウイベンハウ犯罪防止パネル
王室・英国在郷軍人会	ウイベンハウ・コミュニティ・芸術プロジェクト
王室・英国在郷軍人会 (婦人部門)	ウイベンハウ・フォーク・グループ
ウイベンハウ・サービス・クラブ (王室・英国在郷軍人会)	ウイベンハウ・テニス・クラブ
ST メアリー教会の婦人団体	CNDのウイベンハウ支部
メソジスト教会の婦人団体	バライティーのウイベンハウ宮殿
ウイベンハウ・パントマイム・グループ	キリスト・アデルフィアン派
ウイベンハウ・プレイヤーズ	世界の野生生物基金
ウイベンハウ・ギルバート&スリヴァン団体	母親と赤ん坊のグループ (セント・メアリー教会)
英国砂糖技師仲間ギルド(ウイベンハウ支部)	ウイベンハウ・プレイグループ (ウイベンハウ・センター)
ウイベンハウ・フェリー・トラスト	セント・メアリー・プレイグループ
ウイベンハウ・婦人グループ	KGV プレイグループ
ウイベンハウ・コミュニティ団体	月曜クラブ
ウイベンハウ・カーニバル委員会	乳房ケア・乳房切除の団体
ウイベンハウ・ブリッジ・クラブ	全国頭部傷害団体
メソジスト教会	海の男への使節団
カソリック教会	ダンケルク復員軍人の団体
組合教会	ビジネス・専門家の婦人 UK 連合
ST メアリーズ教会・教区立教会カウンシル	酒類販売免許店団体
大学礼拝堂、エセックス大学	
ミルフィールド学校 P.T.A.	
ブルームグローブ学校団体	

## 1. 教会の現況<sup>8)</sup>

### (1) 聖マリア教会 (英国国教会)

デイヴィット・トーマス牧師

日曜サービス

8:00 聖さん式、9:15 子供教会、10:30 家族サービス、18:30 祈とう書、夕べの祈り

### (2) 聖モニカ教会 (ローマ・カトリック)

教区司祭・大学施設付司祭マイケル・バトラー神父

日曜サービス

10:45 ミサ、12:15 大学にてミサ

### (3) ウイベンハウ組合教会

アンジェラ・ロビン牧師

日曜サービス

11:00 午前のサービス

教会組織——修道女親睦会

### (4) ウイベンハウ・メソジスト教会

ジョン・ロビンソン牧師

日曜サービス

10:30 午前のサービス、10:30 子供教会、9:30 聖さん式 (第3日曜日のみ)、18:30 聖さん式 (第1日曜日のみ)

教会組織——女性の親睦会 (1週おきの木曜日2:30)、夕食会 (第1水曜日19:00)、老人会 (1週おきの金曜日)、青年会 (毎週木曜日19:00)

## 2. ウイベンハウ・ソサエティ

1965年の終り、キー (波止場) の上流の造船所は、木材会社に所有された。そして、大きなローリー (トラック) が細い道を通るようになり、人々の生活にも影響が出てきた。1966年1月、そのことに関心をもつ人々が集まり、ウイベンハウ・ソサエティを設立した。

当時、文化財保護やアメニティ (生活を楽しく快適にする) という考え方が十分に存在していなかった。人々は、自からの生活環境を守り改善するために、討議し運動を展

開した。回答を得るために手紙を書き、計画の効果を検討し、カウンシルのミーティングで質問し、さまざまな経験を重ねてきた。

その活動は多様で、1992年3月に閉鎖された造船所への関心、保護すべき建物のリストアップ、フットパスを使えるように維持すること、パブの建物を破壊から救出、ウイベンハウ・ウッド（森）の監視、防止堤の監視などである。

現在では、さらに一步進んだ活動を展開している。キー全体の保護の必要性、美的社会的観点からの重要性である。タウンの上部にある砂利採掘所をカントリー・パークにすると提案する運動である。

ソサエティでは、地方団体と協力して作業する方向にある。コルチェスターでのウイベンハウ・フォーラムやグリーン・フォーラムの設立に協力している。その他、様々なこの種の団体と協力し、支援している。

ソサエティは、こうしたボランティア・グループの全国賞を授賞した。今後は、木の植樹、タウン・カウンシルの設置する道路備品にお金を払う計画、製塩地の保存、フェリー・トラストへの援助、写真家によるキーの建物の写真による記録づくり、コールン川沿の歩道と自転車道の修繕の促進などである。会では、公の会議を開き、年3回の会報を発行している。

こうしたボランティアな市民活動は、ウイベンハウを愛する人々の集まりであり、現在の環境を保護保存するための積極的な運動である。

### 3. ウイベンハウ市民菜園と庭園協会

ウイベンハウ市民菜園と庭園協会は、毎年9月の第二土曜日、ウイリアム・ラブレスホールでフラワーショーを開催している。ショーは、すべての人が参加でき、多くの審判員により判定される。1996年、第32回のショーとなり、果物、花、野菜、生け花、料理、ジャムあるいは工芸品一般などの何でも可能である。

市民菜園の活動についても、市民の参加を期待している。仕事小屋があり、種、たい肥、肥料は、メンバーに安く売っている。庭仕事や野菜、花に関心のある人々が加入し、活動している団体である。

### 4. ウイベンハウ・フェリー・トラスト

フェリーは、何十年にもわたり、ウイベンハウとフィンリンハウとローヘッジの間を往復していた。その利用者は、造船所や農園で働く人やその家族、果物狩りの人、ウイベンハウの医者への患者などである。それは、対岸のウイベンハウを訪れる最も安い、最も速い手段であった。



フィンリンハウ・ウイベンハウ間のフェリーは、通行権があり、コルチェスター・タウン・カウンシルの責任であったが、1953年に閉鎖された。

フィンリンハウの人々は、カウンシルに令状を出し、問題をロンドンの高等法院にもちこんだが、結局、閉鎖された。ローヘッジのフェリーは、1960年代に閉鎖された。いずれも、利用者の減少したことが、閉鎖された最大の理由であった。

1991年、ウイベンハウ・ソサエティのメンバーは、セイリング・クラブの手助けによりクラブが開かれる日にフェリーを運行した。この試みの成功が、フェリー・トラスト形成のきっかけとなった。

計画は、91年10月に5ポンドの寄付から始まった。ウイベンハウの古い波止場は人気がなく、ウイベンハウとローヘッジに新たな波止場が作られた。ボートは寄付され、ボランティアにより修理改装された。地元の商人、パブの主人、一般の人々、さらに、タウン・カウンシルやソサエティなどによる寄付によりすべての準備が行われた。

フェリーは、9人を運ぶことができる。フェリーの運転手は、ライセンスをもち、500万ポンドの公的保険がかけられた。フィンリンハウにおける適切な波止場の確保が必要であった。フェリーは、週末の満潮時に、約4時間かけてウイベンハウとローヘッジ、フィンリンハウを往復している。1992年6月に公式にオープンした。

## 5. ウイベンハウの芸術

ウイベンハウに芸術家達が住むようになってから30年余となる。画家、俳優、作家、詩人、音楽家などのあらゆる種類の芸術家である。

エドワード時代の俳優、監督であるジョン・マーティン＝ハーヴェイ卿は、ウイベンハウの生まれである。台本作家 W. S. ギルバート、女優ジョーン・ヒックソンもウイベンハウに住んでいた。アマチュアの俳優たちも、タウンに多く住んでいた。

作家には、メアリー・ノートン、子供の本の著者レイラ・バーグとスザンナ・ブラッドレイ、歴史家のヒュー・ブローガンとアラン・ドラモンド、詩人のマーティン・ニューウェルなどである。ウイベンハウには、文筆の代理店、出版社、出版サービスのストックをもつ書店、さらに図書館などがあり、タウンの中で、十分に作家活動を行うことができるのである。

音楽関係では、フォーク、クラシック、ロック、ジャズなどの関係者が多い。

ウイベンハウは、アーティスト（芸術家）の共同体として知られている。その中には、画家のパム・ダン、写真家のスー・マレー、彫刻家のガイ・タップリン、ジャーナリストのジョージ・ゲールなどである。

1991年、ウイベンハウ・アーツ・プロダクトが設立された。これは、ウイベンハウでの芸術を促進しようとする新たな組織で、展示会、音楽イベント、フェスティバルなど

を開催している。

#### 註

- 1) Wivenhoe Town Council 『Wivenhoe — A delightful secret』 参照
- 2) Wivenhoe Town Council 『The Official Wivenhoe Town Guide』 10～18頁参照
- 3) ヒアリングにおける Peter Hill 議員の解説
- 4) Peter Hill 議員の発言
- 5) Peter Hill 議員の発言およびメモによる
- 6) 山下茂他 『比較地方自治』 38頁
- 7) Wivenhoe Town Council 『The Official Wivenhoe Town Guide』 19～23頁参照
- 8) Wivenhoe Town Council 『The Official Wivenhoe Town Guide』 26～49頁参照

#### 参考文献

1. Wivenhoe Town Council 『The Official Wivenhoe Town Guide』
2. 同 上 『Wivenhoe — A delightful secret』
3. Michael Sommerlaud 『Wivenhoe Park and John Constable』
4. Nicholas Butler 『The Story of Wivenhoe』
5. Oliver Whaley 『The Day Before Yesterday』
6. Paul Brown 『The Wivenhoe and Brightlingsea Railway』
7. 財自治体国際化協会 『パリッシュ政府百年史——1894～1994』
8. 『Wivenhoe Town Council — Agenda』、97. 2 .17
9. Wivenhoe Councillor, Peter Hill 氏からの第1回、第2回ヒアリング記録
10. The Essex Association of Local Councils 『Essex Association of Local Councils』
11. H.W. Clarke 『Parish, Town and Community Councils』